



湯川中だより

NO. 14

発行日 令和3年12月23日(木)

発行者 校長 宮城 裕樹

2学期は「主体性」～自ら学ぶ、自ら働く～

実り多い2学期でした

コロナ禍の影響で、行事の延期や中止に始まった2学期でしたが、修学旅行、紫陽祭、農業体験学習(稲刈り)など、大きな行事を実施することができ、大会やコンクールでも成果をあげた実り多い2学期となりました。何より、大きな事故やけがなく83日間を無事に終了することができました。改めて、ご家庭や地域の皆様のご協力に御礼と感謝を申し上げます。

2学期始業式に、「『自ら学ぶ、自ら働く』ことを特に意識し、勉強・部活動・生徒会活動に主体的に、工夫しながら取り組んでほしい。」と生徒に話をしました。振り返ると、学校行事の成功に向けて協力して作業をしたり、進んで準備をしたり、工夫しながら練習したりするなど、主体的な姿をたくさん見ることができました。また、最近では、学習面においても自己の課題を理解し、それをどうすべきかを考え、進んで勉強する生徒が増えています。

「自ら気付き、考え、行動できる力」は、子供達が将来、予測困難な社会の変化に主体的に向き合い、よりよい人生を築いていく上で必要な力です。本校の取組はまだまだ十分とは言えませんが、今後も継続して取り組んでまいりますので、引き続きご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

無事故で有意義な冬休みを

先日は、授業参観・教育講演会にご来校いただきありがとうございました。

無事故で有意義な冬休みになるよう、「冬休みの生活について」をもとに学年・全校で指導してまいりました。ご家庭でも確認をお願いいたします。

特に、スマートフォンやタブレット等については、危機感をもって正しく使うことが大切です。約束事を再確認するなど、この冬休みに改めて話題にしてください。

また、ご家庭での感染防止対策についても、引き続きお願いいたします。



いじめを許さない学校に

先日、いじめアンケートを実施しました。今回いじめの訴えはありませんでしたが、度が過ぎるじゃれ合いや冗談半分の言動については指導をしました。今後も注意して見ていきたいと思えます。

いじめ問題解決の鍵は、学校・家庭・地域の連携にあります。最近では、「SNSなどインターネット上で行われるもの」など、見つけづらいものも増えています。

いじめは絶対に許されない人権侵害であり、根絶しなければなりません。今後も未然防止と早期発見・解決に努めてまいりますので、何か心配なことがあるときには、遠慮なくご連絡ください。

湯中生の活躍が讃えられました！

2年生漫才発表会

12/15(水)、村公民館において行いました。ぺんぎんナッツさんからご指導を頂き、約1カ月かけて作り上げた漫才を生徒達が披露し、会場に爆笑をもたらしました。その様子は、テレビや新聞にも取り上げられました。コミュニケーション力の向上だけでなく、漫才という難しい課題にコンビで支え合いながら挑戦し、堂々とやり遂げたことが、2年生の大きな財産になると思えます。



毎日カップ中学校体力づくりコンテスト優良賞

全国からエントリーした4449校の中から、体力向上に成果を上げている40校に湯川中が選ばれ、優良賞を受賞しました。

人権作文コンテスト感謝状

人権作文コンテストへの取組の成果が認められ、県法務局より本校に感謝状が贈呈されました。

令和3年お世話になりました。よいお年をお迎えください。